

性犯罪被害

SNSだと日常生活では関わりのない人とコミュニケーションできる反面、相手の本性を知らずに信用したり、好意を寄せてしまったりして、性犯罪被害に巻き込まれる危険性があります。SNSで気軽にアップした写真を見た人からストーカー被害を受けることも現実には起こっています。



事例
SNSで知り合った人に直接会ってみたら、SNSの写真とは別人で、売春目的だった、というケースは少なくありません。また、相手の言うことに騙されて性的な画像や動画を送ってしまい、そのことで脅されたり、SNSで拡散されたり、有料サイトで売られたり、完全には消せなくなって苦しめられることもあるのです。
自撮り画像や動画をアップしたら、執拗に好意を伝えてきてDMを大量に送りつけるネットストーカーに狙われた、写真の位置情報から生活圏内を特定されてリアルなストーカー被害に遭った、という恐ろしい事例もあります。

対策
同じ趣味の人と話が合って意気投合することはSNSでよくありますが、実際に会うときは慎重に。できれば1対1は避けましょう。
相手にどんなに頼まれても、性的な画像や動画は絶対に送らないこと。下着姿くらいなら、と軽く応じていると、どんどんエスカレートするかもしれません。また電話やオンライン通話では、こっそり録音や録画することが可能なので気をつけて。写真に写り込んだものや投稿内容でも生活圏内は推測できるので注意が必要です。
性被害の場合、秘密厳守・匿名OKの相談機関があるので利用しましょう。

個人間取引詐欺被害

SNSでは、同じ趣味の人を探して交流することができるため、ライブチケットやキャラクターグッズ、ブランド物の衣料品や雑貨など、面識のない個人と売買をすることが一般的に行われています。その中には最初から詐欺目的で発信しているケースもあるので、注意が必要です。



事例
SNSで「ライブのチケットを譲ります」という書き込みを見て連絡を取り、代金を支払ったら、その後、音信不通になり、SNSのアカウントも削除されて連絡が取れなくなった。定価より高額だったが買い取ったところ、転売禁止のチケットで入場拒否された、といった詐欺被害は後を絶ちません。
限定販売の商品を定価で売る、人気ブランドの中古品を半額以下で譲る、などの誘い文句に飛びついたら、ニセモノや粗悪品が届いて返品できなかった、というケースもあります。SNS上の取引だけでなく、フリマアプリでも、同様のトラブルが多発しています。

対策
SNS上で知り合った場合、相手の本名すらわからず、連絡手段はSNSのDMだけ、ということがあります。最近では、ライブのチケットの取引だと、PayPayなどのキャッシュレスで代金を支払い、電子チケットで受け取ることができるため、お互いの個人情報をお互い明かさなくてもいいので、まずは信用できる相手か、しっかり確認することが大事。
SNSでの過去の投稿やフリマアプリなら出品履歴も参考に。少しでも変だと感じたなら、代金を支払う前にキャンセルすることも考えましょう。